

# 11月新着図書

おひとり3冊まで、2週間（新着本は1週間）借りられます。



野庭すずかけコミュニティハウス

## 人間

著者名：又吉直樹

僕達は人間をやるのが下手だ。38歳の誕生日に届いた、ある騒動の報せ。何者かになろうとあがいた季節の果てで、かつての若者達を待ち受けていたものとは？初の長編小説にして代表作、誕生!!

## 死にゆく者の祈り

著者名：中山七里

無二の友人は死刑確定囚だった！ 囚人に仏道を説く教誨師は、不可解なカップル刺殺事件の真相を追ううちに、真の救済の意味を知る。

## 遠い他国でひょんと死ぬるや

著者名：宮内悠介

ぼくは、ぼくの手で、戦争を、ぼくの戦争がかきたい—そう書き残し、激戦地ルソン島で戦死した実在の詩人・竹内浩三。彼は何を見、何を描いたのか？ テレビディレクターの職を捨て単身フィリピンに渡った須藤は、その足跡を辿りはじめた。だがその矢先、謎の西洋人男女に襲われ、山岳民族イフガオの娘ナイマに救われる。かつて蹂躪された記憶を引き継ぎ日本人への反感を隠さないナイマだが、昔の恋人ハサンの実家を訪ねる道行きに、付添いとして須藤を伴うことに。ミンダナオ島独立のために闘ったイスラム一族の家で一時的の休息を得た須藤だったが、ハサンの家は秘密を抱えていた……。

## 落日

著者名：湊かなえ

脚本家の甲斐千尋は、新進気鋭の映画監督 長谷部香から、新作の脚本の相談を受けた。『笹塚町一家殺害事件』—引きこもりの男性が、高校生だった妹を刺し殺した後、家に火を点けて、両親も死んでしまった事件を手がけたいという。千尋はその笹塚町の出身であった。実は監督の香も、子どもの頃、笹塚町に住んでいて、千尋の姉と同じ幼稚園に通い、しかも事件の当事者の家族と同じアパートに住んでいたことがあるという……。人間や事件の“真実”とは？ “人を裁く”ということは？ “人を赦す”ということは？

## 楽園の真下

著者名：荻原浩

日本でいちばん天国に近い島といわれる「志手島」は、本土からは船で19時間、イルカやクジラの泳ぐコーラルブルーの海に囲まれ、亜熱帯の緑深い森に包まれている。そんな楽園で、ギネス級かもしれない17センチの巨大カマキリが発見された。『びっくりな動物凶鑑』を執筆中だったフリーライターの藤間達海は、取材のため現地を訪れるが、志手島には楽園とは別の姿があった。2年間で12人が、自殺と思しき水死体で発見されており、ネットでは「自殺の新名所」と話題になって「死出島」と呼ばれていたのだ。かつて妻を自殺で失った藤間は、なぜ人間は自ら命を絶とうとするのかを考え続けており、志手島にはその取材も兼ねて赴いていた。やがて島で取材を続ける藤間の身の回りでも不審死が……。

## 罪と祈り

著者名：貫井徳郎

著者2年ぶりの最新長編！「令和元年」必読の衝撃作！！隅田川で発生した元警察官殺し。その息子たちが突き止める、父親たちの秘密——著者2年ぶりの最新長編！「令和元年」必読の衝撃作！！元警察官の辰司が、隅田川で死んだ。当初は事故と思われたが、側頭部に殴られた痕が見つかった。真面目で正義感溢れる辰司が、なぜ殺されたのか？息子の亮輔と幼馴染みで刑事の賢剛は、死の謎を追い、賢剛の父・智士の自殺とのつながりを疑うが……。隅田川で死んだふたり。そして、時代を揺るがした未解決誘拐事件の真相とは？辰司と智士、亮輔と賢剛、ふたりの男たちの「絆」と「葛藤」を描く、儚くも哀しい、衝撃の長編ミステリー。貫井徳郎、新境地！

## 伊勢佐木町探偵ブルース

著者名：東川篤哉

横浜の老舗商店街・伊勢佐木町にひっそりと事務所を構える私立探偵・桂木圭一。時代遅れなスカジャンを愛用する舎弟・黛真琴を引き連れて、港町で起きる重大(?)事件の調査を生業にしている。ある日、知らぬ間に再婚していた母親の新居を訪ねると、そこは山手の大豪邸。お相手はなんと神奈川県警本部長で、しかもその息子は伊勢佐木署のイケ好かないエリート刑事だった…！やたらと現場で鉢合わせる義兄弟、このビミョーな関係一体どうなる!?

## たそがれダンサーズ

著者名：桂望実

会社はもういい。定年後に何をしたらいいのだろう。妻が俺より出世した。悠々なんてくそくらえ。迷える男たちが足を踏み入れたのは、ダンスの世界！この歳にしてビギナーズ。これは逃避か、それとも自虐？人生の夕暮れ時を明るく照らす、はじめの一步を踏みだそう。悲喜こもごもの中年部活物語